

製品名: MBD1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87293**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:67 kDa; Observed MW:67 kDa

抗原情報

遺伝子名	MBD1
別名	RFT; PCM1; CXXC3
遺伝子 ID	4152
SwissProt ID	Q9UIS9
免疫原	ヒト MBD1 の合成ペプチド

背景

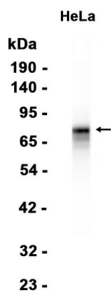
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、メチル化 CpG 結合ドメイン（MBD）の存在によって関連する核タンパク質ファミ

リーのメンバーです。これらのタンパク質はメチル化 DNA に特異的に結合し、一部のメンバーはメチル化された遺伝子プロモーターからの転写を抑制することもできます。このタンパク質は複数のドメインを含みます。N 末端の MBD はメチル化 DNA への結合とタンパク質相互作用の両方に機能し、複数の CXXC 型ジンクフィンガードメインは非メチル化 CpG ジヌクレオチドへの結合を媒介します。C 末端の転写抑制ドメイン (TRD) は転写抑制とタンパク質相互作用に関与します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする多数の選択的スプライシング転写バリエーションが知られています。[RefSeq 提供、2011 年 2 月]

研究分野

-

画像データ



MBD1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。